

2024年3月期 通期

クリモトグループ決算説明資料

KURIMOTO

目次

1. 会社概要

2. 2024年3月期 実績

参考資料

1. 会社概要

1 - 1 会社概要

所在地：
大阪府大阪市西区北堀江1丁目12番19号

創立：
1909年2月2日（明治42年）

設立：
1934年5月10日（昭和9年）

主要事業領域：
社会インフラ事業、産業設備事業

代表者：
代表取締役社長 菊本 一高

資本金：
311億円（2024年3月末時点）

従業員数：
連結 2,121名（2024年3月末時点）
単体 1,316名（2024年3月末時点）

グループ企業：
国内外22社で構成

1 - 1 会社概要

事業所：

○工場・物流拠点（計13か所）

大阪府内4か所

滋賀県、茨城県など

○国内営業拠点（8か所）

大阪、東京、札幌、仙台、

名古屋、広島、福岡、沖縄

○海外拠点（2か所）

ヨーロッパ事務所（ドイツ）、

ジャカルタ事務所（インドネシア）



関係会社：

栗本商事(株)、ヤマトガワ(株)、(株)本山製作所、(株)ケイエステック、
 ジャパンキャストリング(株)、Readco Kurimoto、Kurimoto USA<米国>、
 栗鉄（上海）貿易有限公司<中国>など 計22社

1 - 1 会社概要

経営理念

私たちは、全てのステークホルダーの期待と信頼に応え、常に最適なシステムを提供し、『夢ある未来』を創造します。

～社会インフラ・産業インフラへの
最適なシステムの提供～

1 - 2 事業部門の構成と主な製品

◆ 社会インフラと産業設備事業の構成、官需/民需のバランスが良く、好不況の波に強い事業基盤を持つ

社会インフラ = 安定性

上下水道、道路、通信、交通など
人・生活において基盤となる施設。

売上比率
約50%

売上比率
約50%

産業設備 = 成長性

メーカーの生産活動に必要な
機械、プラントなどの製造設備。

ライフラインセグメント		機械システムセグメント		産業建設資材セグメント	
パイプシステム	バルブシステム	機械システム	素形材 E N G	建材	化成品
水道用ダクタイル鉄管	水道用・産業用バルブ	鍛造プレス、混練機	耐熱・耐摩耗鋳物 破砕機	空調用ダクト等の 建築資材	検査路等の FRP(M)製品
 	 	 	 	 	 

2. 2024年3月期 実績

2 - 1 決算概要

<連結>

(単位：百万円)

	2023.3 実績 (A)		2024.3 実績 (B)		前年比 (B-A)	2024.3 期初予想値※ (C)		予想比 (B-C)
売上高	124,827	-	125,925	-	1,097	120,000	-	5,925
営業利益(率)	6,840	(5.5%)	7,460	(5.9%)	620	6,000	(5.0%)	1,460
経常利益(率)	6,868	(5.5%)	7,816	(6.2%)	947	6,000	(5.0%)	1,816
当期純利益(率)	4,727	(3.8%)	5,470	(4.3%)	743	4,000	(3.3%)	1,470
ROE	-	(6.9%)	-	(7.1%)	(0.2pt)	-	(5.5%)	-

※期初予想値 (C) : 2023年5月12日公表

売上高

産業設備（民需）分野においては前期に売上が集中した反動しより減収となるも、社会インフラ（官需）分野が堅調に推移したこと等により、前年同期比1,097百万円の増収。

営業利益

増収に加え、原価低減活動の効果により、前年同期比620百万円の増益。

2-2 売上高・営業損益比較

(単位：百万円)

売上高

ライフライン +3,560
機械システム ▲4,957

産業建設資材 +2,495

2024.3
125,925

2023.3
124,827

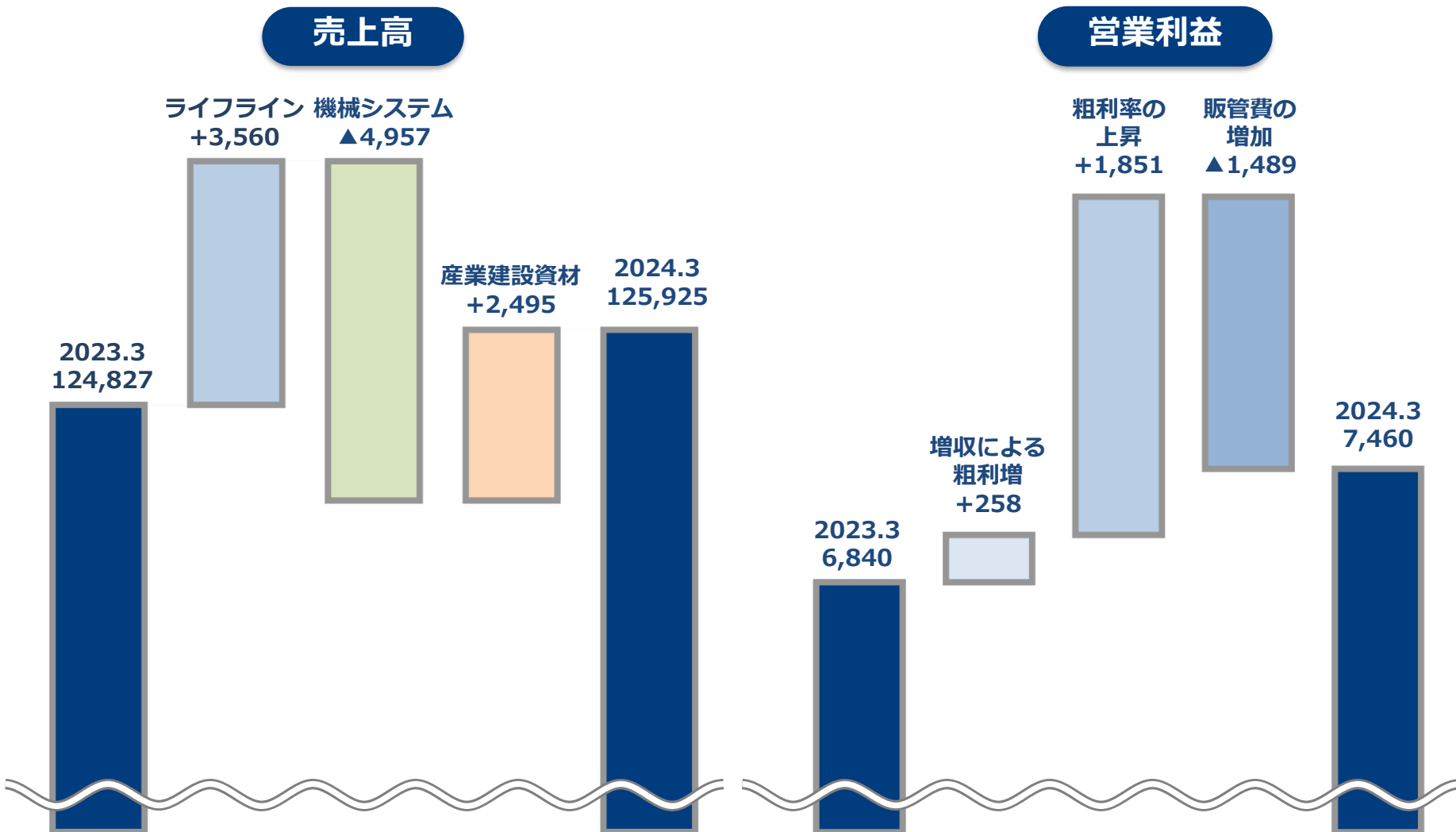
営業利益

粗利率の上昇 +1,851
販管費の増加 ▲1,489

増収による粗利増 +258

2023.3
6,840

2024.3
7,460



2-3 セグメント別業績

		2023.3実績 (A)	2024.3実績 (B)	前年比 (B-A)	2024.3 期初予想値 (C)	予想比 (B-C)
ライフライン	売上高	60,879	64,439	3,560	59,200	5,239
	営業利益	3,679	4,494	815	3,200	1,294
	(率)	(6.0%)	(7.0%)	(1.0pts)	(5.4%)	(1.6pts)
機械システム	売上高	34,102	29,144	▲4,957	31,800	▲2,656
	営業利益	2,208	1,491	▲717	1,600	▲109
	(率)	(6.5%)	(5.1%)	(▲1.4pts)	(5.0%)	(0.1pts)
産業建設資材	売上高	29,845	32,340	2,495	29,000	3,340
	営業利益	1,404	2,255	851	1,200	1,055
	(率)	(4.7%)	(7.0%)	(2.3pts)	(4.1%)	(2.9pts)

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

※2024.3期初予想値(C)：2023年6月1日公表「2023年3月期決算説明資料」

2-4 事業セグメント別概況

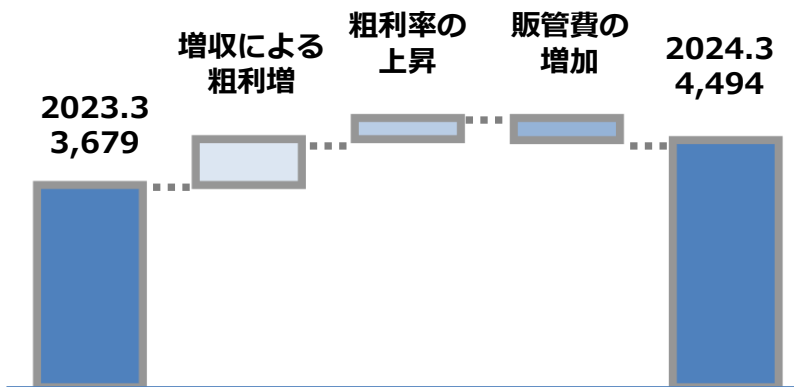
ライフラインセグメント

(単位：百万円)

	2023.3 実績 (A)	2024.3 実績 (B)	前年比 (B-A)	2024.3 期初予想値※ (C)	予想比 (B-C)
売上高	60,879	64,439	3,560	59,200	5,239
営業利益	3,679	4,494	815	3,200	1,294
(率)	(6.0%)	(7.0%)	(1.0pts)	(5.4%)	(1.6pts)

※2023.3期初予想値 (C) : 2023年6月1日公表「2023年3月期決算説明資料」

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

バルブ部門および販売子会社の売上が堅調に推移したことにより、前年同期比3,560百万円の増収

営業利益

増収に加え、バルブ部門で価格改定が浸透したこと、原価改善活動の効果により前年同期比815百万円の増益

2-4 事業セグメント別概況

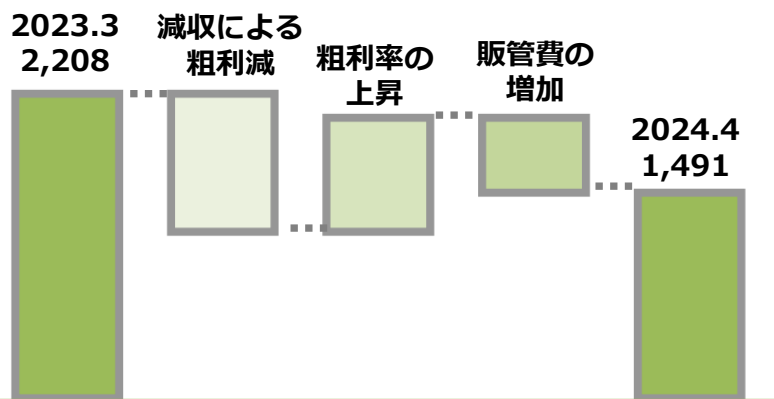
機械システムセグメント

(単位：百万円)

	2023.3 実績 (A)	2024.3 実績 (B)	前年比 (B-A)	2024.3 期初予想値※ (C)	予想比 (B-C)
売上高	34,102	29,144	▲4,957	31,800	▲2,656
営業利益	2,208	1,491	▲717	1,600	▲109
(率)	(6.5%)	(5.1%)	(▲1.4pts)	(5.0%)	(0.1pts)

※2023.3期初予想値 (C) : 2023年6月1日公表「2023年3月期決算説明資料」

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

素形材部門は堅調に推移したものの、機械部門において昨年度に売り上げが集中した影響により、前年同期比▲4,957百万円の減収

営業利益

素形材部門は増益となるも、機械部門が減収による減益、前年同期比▲717百万円の減益

2-4 事業セグメント別概況

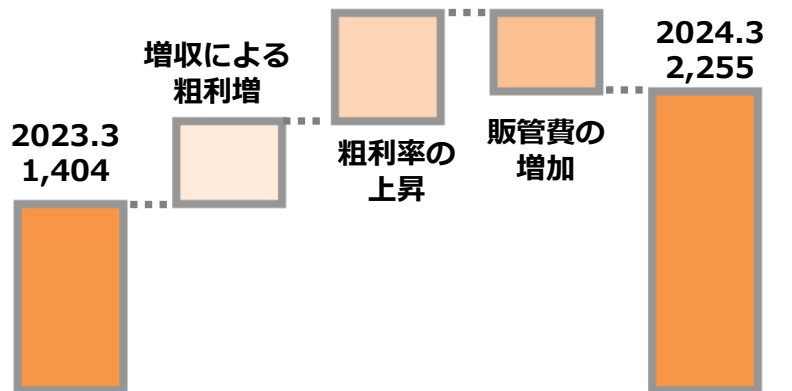
産業建設資材セグメント

(単位：百万円)

	2023.3 実績 (A)	2024.3 実績 (B)	前年比 (B-A)	2024.3 期初予想値※ (C)	予想比 (B-C)
売上高	29,845	32,340	2,495	29,000	3,340
営業利益	1,404	2,255	851	1,200	1,055
(率)	(4.7%)	(7.0%)	(2.3pts)	(4.1%)	(2.9pts)

※2023.3期初予想値 (C) : 2023年6月1日公表「2023年3月期決算説明資料」

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

建材部門、化成品部門ともに堅調に推移したことにより、前年同期比+2,495百万円の増益

営業利益

増収に加え、高付加価値製品の売上比率の増加により、前年同期比851百万円の増益

2 - 5 財務状態の概況

(単位：百万円)

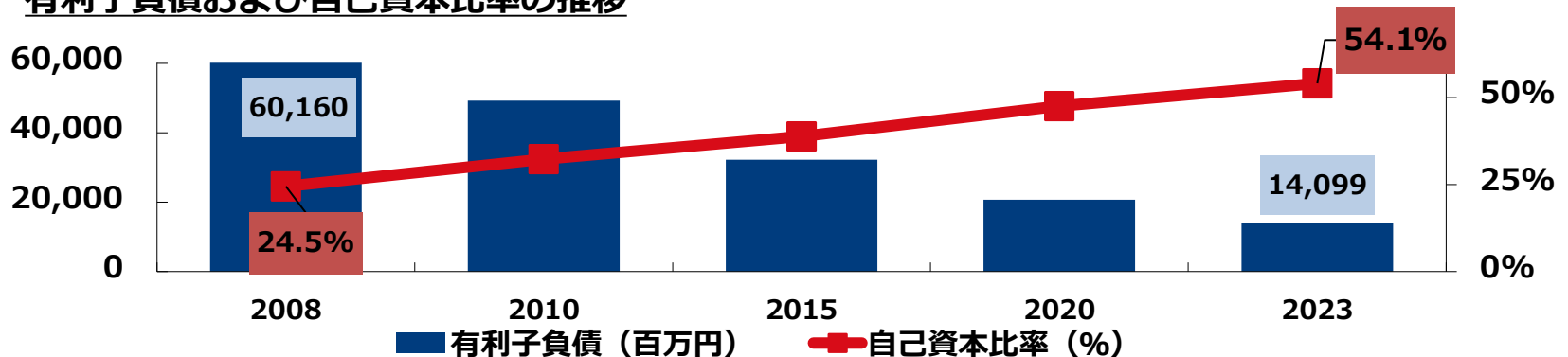
<連結>

	2023.3末	2024.3末	増減
現金及び預金	20,334	19,368	▲ 966
その他流動資産	73,132	75,619	+2,487
流動資産 合計	93,466	94,987	+1,521
固定資産 合計	51,697	56,189	+4,492
資産 合計	145,164	151,176	+6,012
流動負債 合計	62,311	59,442	▲2,869
固定負債 合計	9,889	9,003	▲ 886
負債 合計	72,200	68,446	▲3,754
純資産 合計	72,963	82,730	+9,767
負債純資産 合計	145,164	151,176	+6,012

主な項目の増減

■ 流動資産	
・ 仕掛品の増加	+ 1,807
■ 固定資産	
・ 投資有価証券の増加	+ 6,523
■ 流動負債	
・ 借入金の減少	▲ 6,565
・ 支払手形及び買掛金	▲ 1,317
・ 電子記録債務	+ 6,286
・ 未払法人税等の増加	▲ 844
■ 固定負債	
・ 長期借入金の増加	+ 1,013
・ 退職給付に係る負債の減少	▲ 1,886

有利子負債および自己資本比率の推移



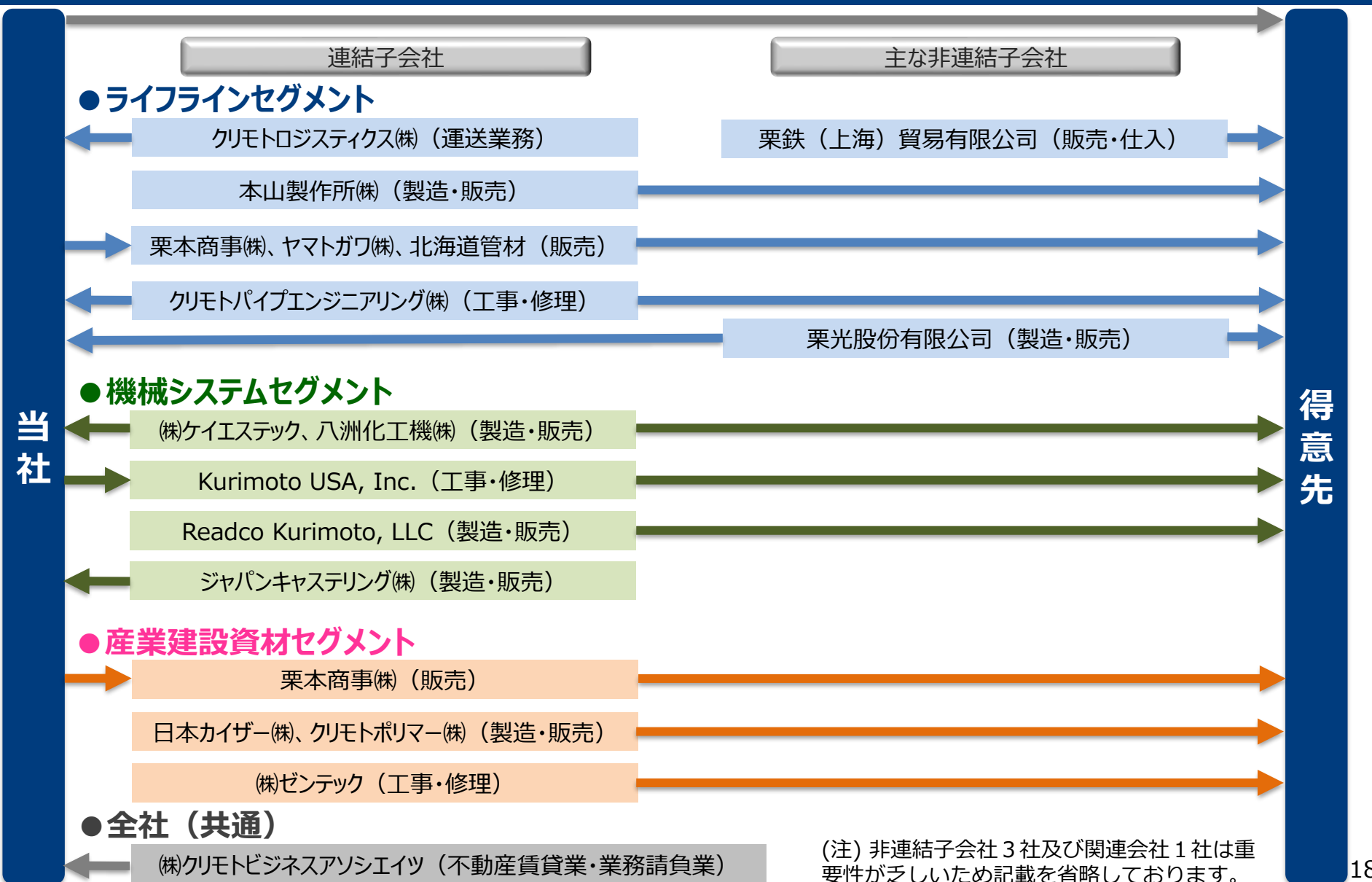
2 - 6 連結キャッシュフロー

<連結>

区分（細分項目は主な項目のみ）	2023.3期	2024.3期	（単位：百万円）
営業活動によるキャッシュフロー	5,064	10,278	
税金等調整前当期純利益	6,879	7,944	
減価償却費	2,930	2,951	
売上債権の増減額（▲は増加）	▲ 6,925	▲ 82	
棚卸資産の増減額（▲は増加）	587	▲ 2,019	
仕入債務の増減額（▲は減少）	693	4,713	
その他	900	▲ 3,232	
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 1,741	▲ 2,690	
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	634	158	
有形及び無形固定資産の取得による支出	▲ 2,379	▲ 2,380	
その他	4	▲ 470	
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 4,495	▲ 8,604	
借入金の増減額	▲ 3,522	▲ 6,565	
配当金の支払額	▲ 915	▲ 1,211	
自己株式の取得による支出	-	▲ 700	
その他	▲ 56	▲ 127	
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）	▲ 1,024	▲ 968	
現金及び現金同等物期末残高	20,275	19,306	
有利子負債期末残高	20,664	14,099	

参考資料

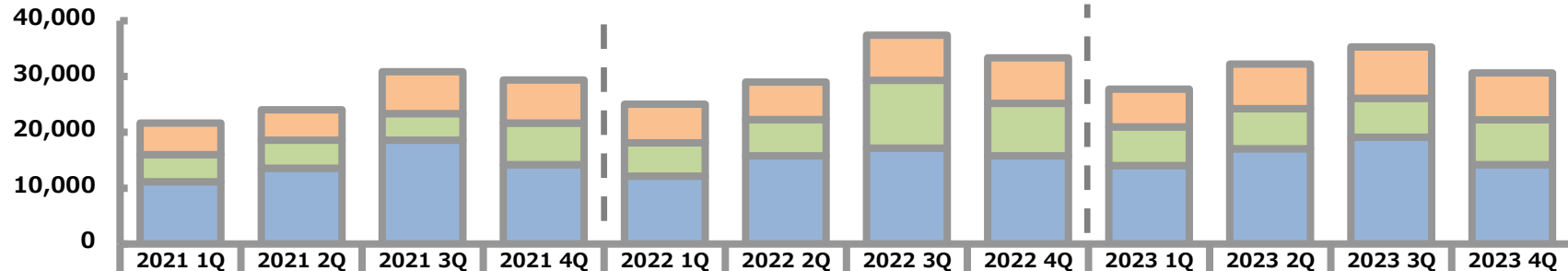
参考資料 1 関係会社



参考資料 2 セグメント別四半期業績推移 (連結)

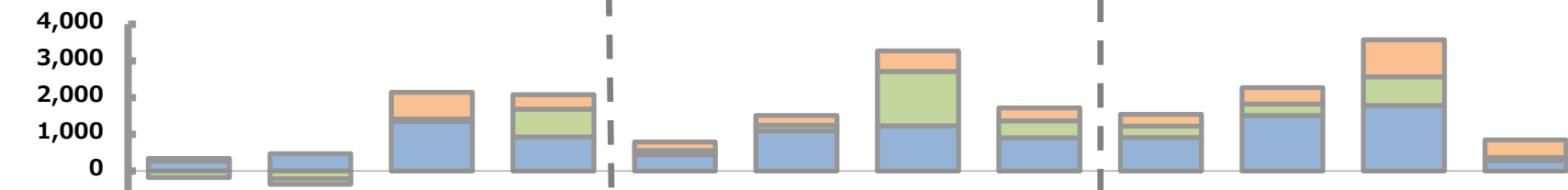
売上高

(単位：百万円)



	2021 1Q	2021 2Q	2021 3Q	2021 4Q	2022 1Q	2022 2Q	2022 3Q	2022 4Q	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q
産業建設資材	5,708	5,405	7,536	7,732	6,881	6,761	8,079	8,124	6,753	7,949	9,225	8,413
機械システム	4,822	5,057	4,759	7,457	6,002	6,477	12,169	9,454	6,921	7,234	6,973	8,016
ライフライン	11,155	13,556	18,582	14,185	12,136	15,796	17,179	15,768	14,052	17,041	19,119	14,227

営業利益



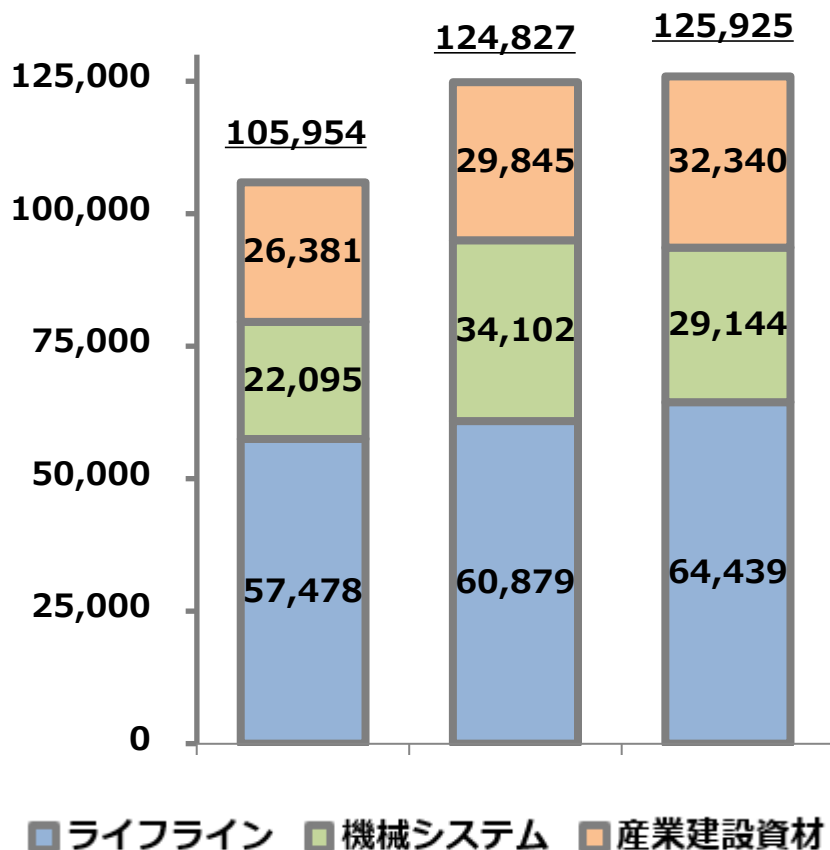
	2021 1Q	2021 2Q	2021 3Q	2021 4Q	2022 1Q	2022 2Q	2022 3Q	2022 4Q	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q
産業建設資材	69	▲ 155	734	392	234	260	562	348	321	447	1,007	480
機械システム	▲ 179	▲ 210	63	763	108	152	1,479	469	308	309	789	85
ライフライン	274	467	1,349	926	447	1,096	1,234	902	913	1,515	1,782	284

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

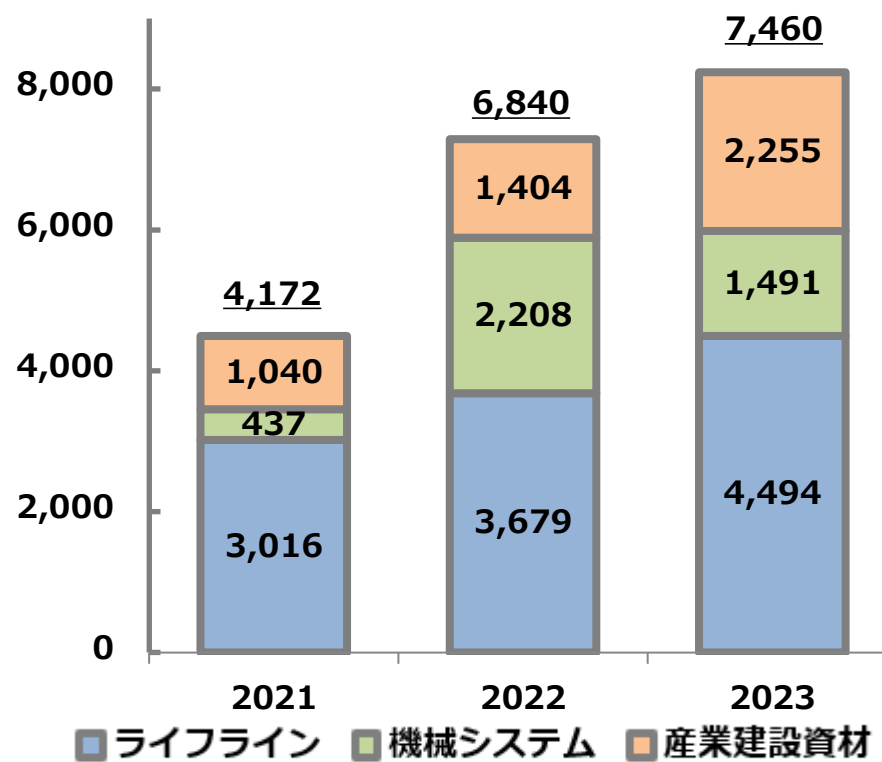
参考資料 3 セグメント別業績推移

(単位：百万円)

売上高



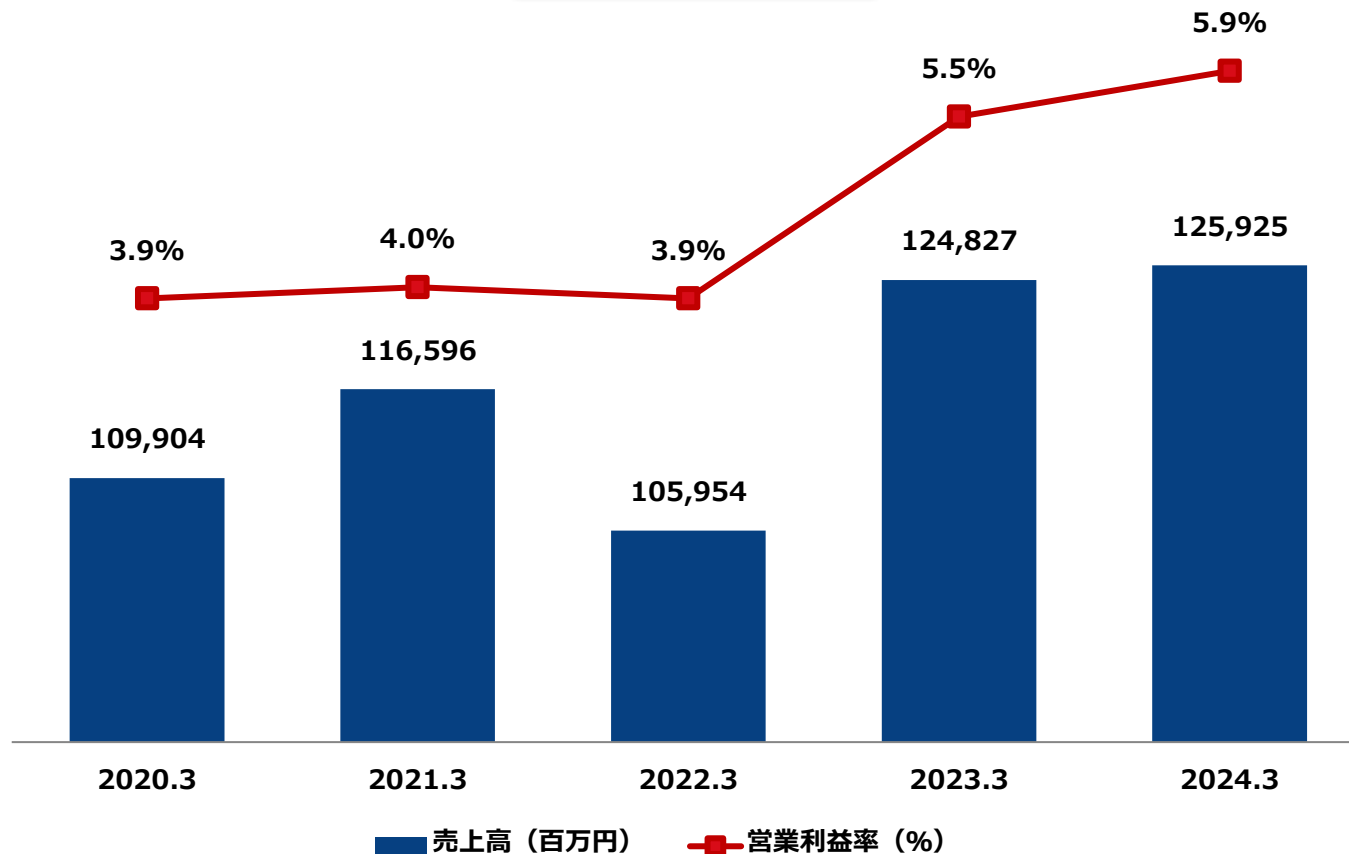
営業利益



※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

参考資料 4 売上・営業利益率推移 (連結)

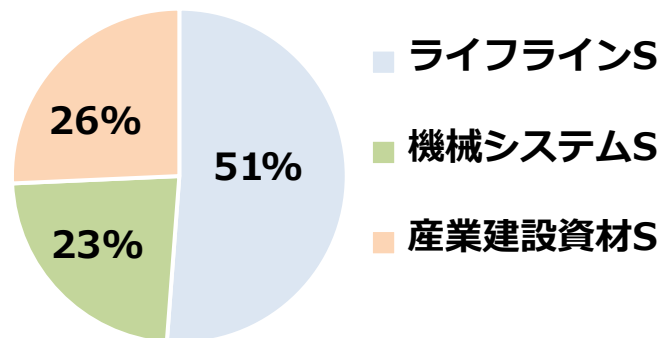
連結



参考資料5 セグメント別売上構成比率他

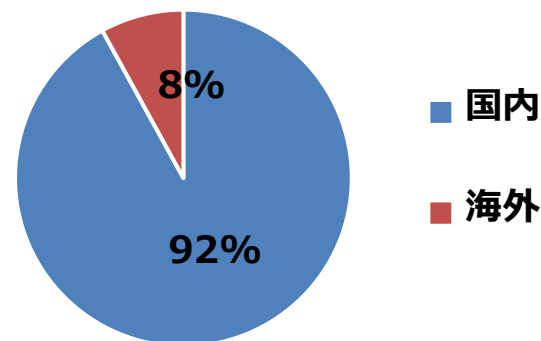
(単位：百万円)

セグメント別売上高構成比率



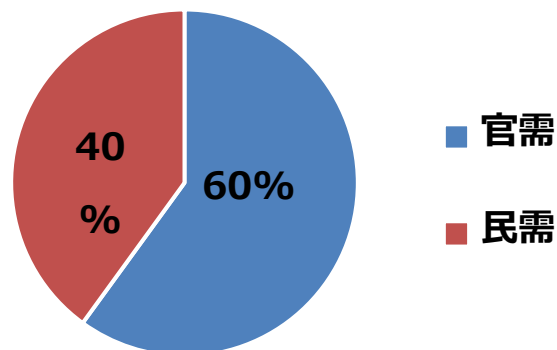
※2023.3実績（連結）

国内および海外売上高構成比率



※過去3ヶ年平均値（単体）

需要分野（官・民）構成比率



※過去3ヶ年平均値（連結）

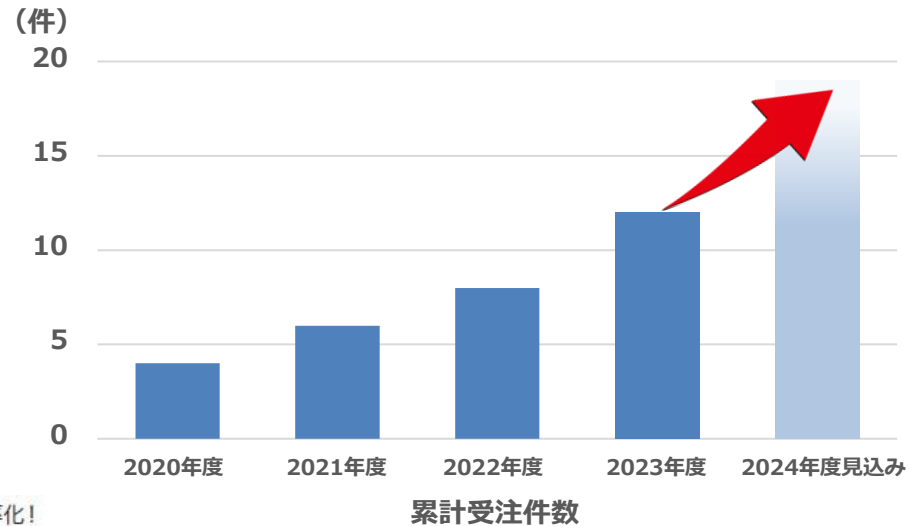
参考資料6 水道管路DB方式

水ビジネス

✓ 上水道管路DB (Design Build) 方式

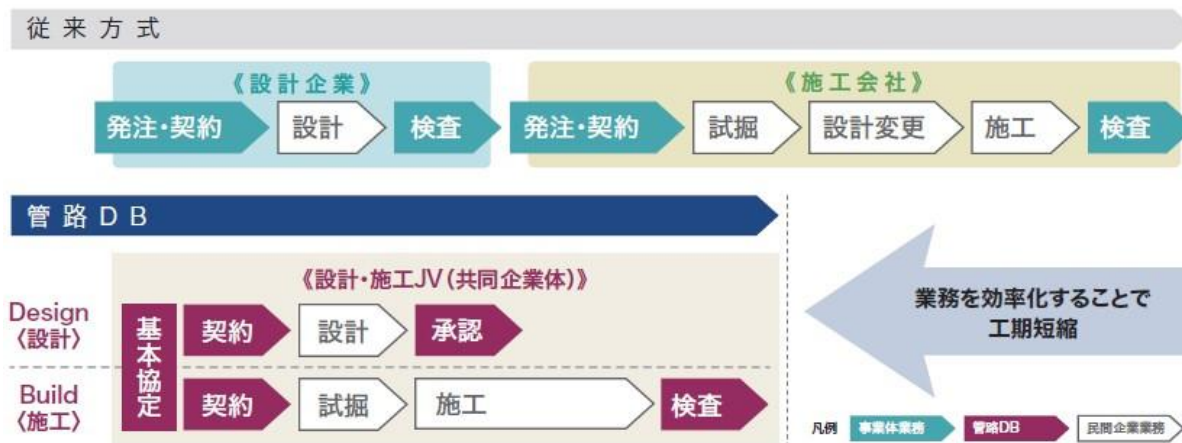
2023年度は受注実績4件、
完成実績1件と着実にノウハウを蓄積

- ・ 受注実績
 - ①北海道 千歳市
 - ②北海道 留萌市
 - ③青森県津軽広域水道企業団
 - ④大阪府 泉佐野市



参考：従来方式と管路DBの違い

■発注フロー 「設計」と「施工」を一括発注することにより、発注者と受注者の双方の業務を効率化!



※Design Build (= 設計・施工一括発注方式) ※受注案件詳細は参考資料を参照

参考資料7 水道管路DB方式 受注実績

●水道管路DB（設計・施工一括発注）方式 主な受注実績

No.	ご発注者	受注	竣工	事業名称	契約者	事業規模
1	長野県 小諸市	2019年度	2022年度	送配水管更新業務 (丸山排水池～坂の上配水池)	栗本鐵工所	3.9億円
2	大阪府 泉佐野市	2020年度	2022年度	泉佐野市日根野浄水場他 管路更新業務	栗本鐵工所・泉佐野市水道組合 特定建設工事共同企業体	3.1億円
3	兵庫県 神戸市	2020年度	2023年度	中央(東町他)配水本管取替事業	栗本鐵工所・港建設・安藤建設 特定建設工事共同企業体	6.2億円
4	奈良県 広陵町	2020年度	2021年度	広陵町馬見南配水本管布設 耐震設計・施工業務	栗本・潮技術コンサル 共同企業体	2.5億円
5	奈良県 広陵町	2021年度	(予定) 2024年度	広陵町配水本管布設 耐震設計施工業務	村本・栗本・潮技術コンサル 共同企業体	5.4億円
6	岐阜県中津川市	2021年度	(予定) 2024年度	中津川駅周辺管路更新事業	クリモト°イ°エンジニアリング 保母興産・新日本設計グループ°	4.4億円
7	奈良県	<u>2022年度</u>	(予定) 2027年度	連絡管第1工区整備事業	栗本・村本・潮技術コンサル 特定共同企業体	—
8	兵庫県 播磨町	<u>2022年度</u>	(予定) 2026年度	東本荘・新島地区基幹管路 布設替工事	栗本・潮技術コンサル 共同企業体	4.4億円
9	北海道 千歳市	<u>2023年度</u>	(予定) 2025年度	(5) 美々地区外水道整備事業	栗本・舞鶴・神栄 日水コン特定共同企業体	13.8億円
10	北海道 留萌市	<u>2023年度</u>	(予定) 2024年度	新信砂浄水場導水管更新事業	クリモト°イ°エンジニアリング 日水コン特定建設工事共同企業体	1.1億円
11	青森県津軽広域 水道企業団	<u>2023年度</u>	(予定) 2030年度	導水管路耐震化(二重化)事業	栗本・丸勘建設 日本水工設計特定共同企業体	48.0億円
12	大阪府 泉佐野市	<u>2023年度</u>	(予定) 2024年度	泉佐野市日根野浄水場他 管路更新業務(その2)	栗本鐵工所・泉佐野市水道組合 特定建設工事共同企業体	0.9億円

参考資料8 FRP検査路

● 道路分野におけるFRP（繊維強化プラスチック）材の採用拡大

FRP検査路

- ・ 高耐久性 – 錆びによる劣化がない
- ・ 施工効率化
 - 主桁・床版一体化構造、軽量化による工事現場での施工性向上
- ・ 安心・安全 – 滑り止め仕様による安全性向上

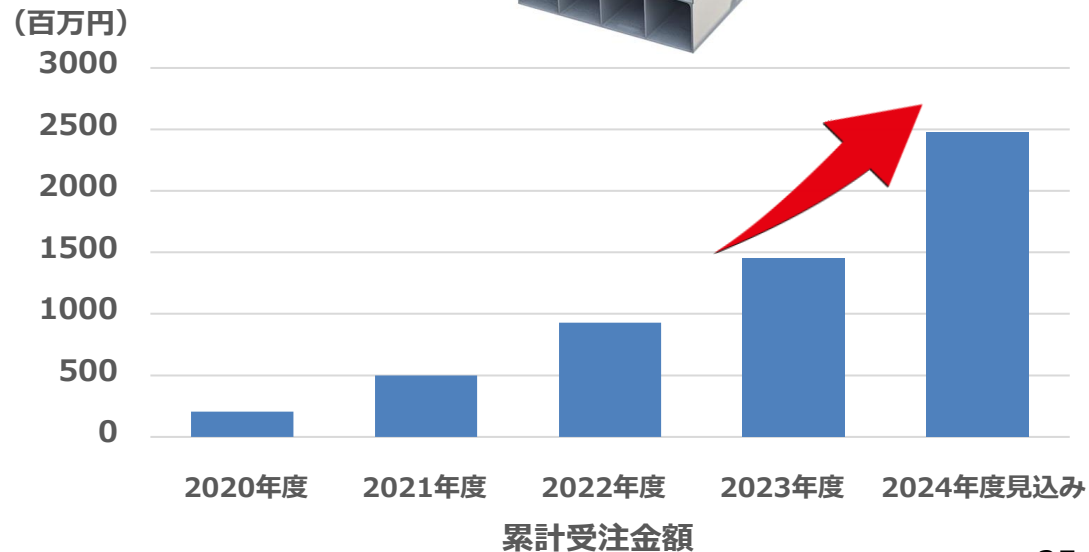
レジリエンス



採用実績



関門自動車道 山中高架橋

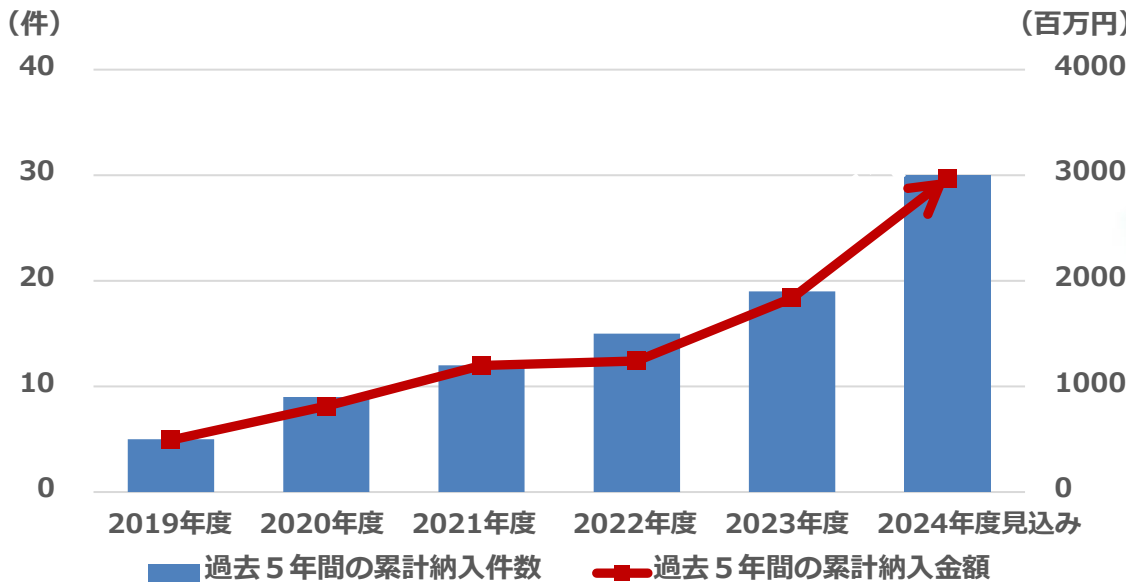
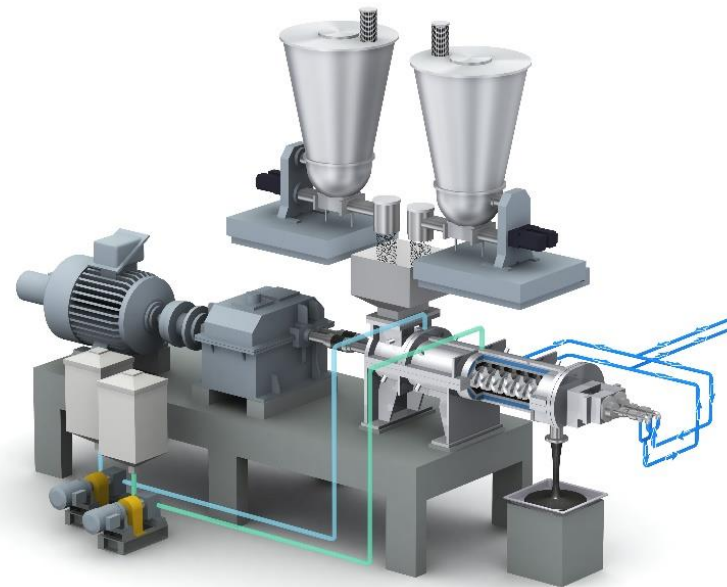


参考資料 9 連続式二軸混練システム

● 二次電池関連分野での 連続式二軸混練システム拡販

二次電池製造プロセス

電極スラリー混練工程への連続混練機適用による混練時間短縮により電池製造工程全体を効率化し、環境負荷低減に貢献



カーボンニュートラルに向けたEV化の流れにおいて、導入拡大に向け活動強化

参考資料 10 新事業開発・研究開発 実績例

クリモトコンポジットセンター (滋賀県東近江市 当社湖東工場内)

延床面積：約2,300㎡

対応製法：Carbon-LFTDシステム

ハイサイクルRTMシステム、引抜成形

主な設備：10MN油圧プレス、4.7MN油圧プレス

三次元測定システム



Carbon-LFTDデモライン

●CFRP (炭素繊維強化プラスチック) 量産技術の開発拠点

国内民間初のデモプラント

成形品 (パーツ) から製造設備 (プロセス) まで顧客のニーズに対応可能

【活用が期待される業界】

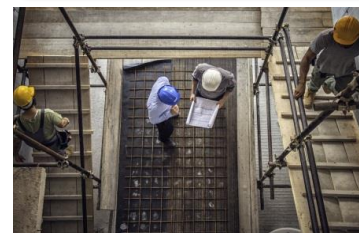
自動車・鉄道



エネルギー・電力



建築・土木



工業製品



資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

問い合わせ先
株式会社栗本鐵工所
総合企画室 IR・SR部
TEL:06-6538-7719
E-mail : ir@kurimoto.co.jp
HPアドレス : <https://www.kurimoto.co.jp>

KURIMOTO